

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1							特定建築物に係る地球温暖化対策の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況				
					特定開発事業を行う区域の面積(m ²)	予定建築物の概要			エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電 定格出力(kw)	太陽熱利用	風力発電	水力発電	温度差熱利用	潜熱回収型給湯器	LED照明設備					その他設備※2 LED照明設備 給湯器 給湯	変更(予定)年月日及び変更事項※3	完了(中止)年月日	変更届	完了届
						棟番号	用途	延べ面積(m ²)																				備考	変更届
006	(仮称)ロジクス産間計画	産間市栗原字東原493の5	産間デベロップメント特定目的会社 取締役 菊地 省吾 ENEOS不動産株式会社 代表取締役社長 丹羽 逸夫	倉庫(倉庫業を営む倉庫)の新築	83444.71	1	倉庫	鉄骨造 地上5階、塔屋1階 建築面積37,103.063m ²	・予定建築物において、LEDを導入した。 ・高効率な冷暖房設備(全熱交換器)を導入した。 ・予定建築物に風除室を採用し、断熱化を行った。 ・建築物に対する日射遮へいを図っている(高木)	・開発区域内を自然被覆化した(敷地外周部への緑化の実施)。 ・産間市開発等事業指導要綱で定められている緑化基準20%を超える緑化を行った(21.01%、17003.41m ²)	・事業の目的・用途に応じ、必要な駐輪場を整備した。 ・事業の目的・用途に応じ、必要な駐車スペースを確保した。 ・開発区域内の走行ルート(トラック)について進入と退出を別々にして周辺交通へ配慮した動線とした	・産間市開発等事業指導要綱で定められている緑化基準20%を超える緑化を図った(21.01%、17003.41m ²) (再掲) ・開発事業によって生じた緑地に在来種(シラカシ・アラカシ等)を取入れた	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・車両、重機のアイドリングストップの推進等、省エネルギー運転を実施した	△	△						●	△コー ジェネ	様番号1 ・総合評価★★ B-以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率75%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	様番号1 ・総合評価★★ ★A ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率76% ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0	2022/2/1	2023/11/30	2022/3/31 開発事業者 2023/11/1 棟番号 延べ面積 建築面積 措置の内容	2023/11/9	
007	県営二宮団地建替事業	中郡二宮町百合が丘三丁目82番1	神奈川県 神奈川県知事 黒岩 祐治	既存の県営共同住宅の建替え	11714.38	1	共同住宅	建築面積：715.19m ² 構造：RC造 地上5階	・共同住宅では、空調設備に代わり、冷房負担低減に有効な自然通風を導入している。 ・外部や共用部・各住戸で使用する照明器具は積極的にLED照明とする。 ・高効率な給湯設備(ガス瞬間給湯器(潜熱回収型))を導入している。	・二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例で定められている緑化基準10%、及び県有施設等の緑地確保に関する実施要綱により定められている緑化基準15%を超える緑化を図る。(緑地面積 2,150.12m ² 、緑化率18.35%) ・室外機周囲に適切なスペースを確保し、排熱のショートサーキットの防止等を図っている。 ・構内歩廊に透水性の高い舗装材を利用している。 ・構内歩廊をピロティで連続させることで、風の通り道を確保している。	・敷地内に駐車場 53台・駐輪場 106台を設置する。 ・構内歩廊はカラー舗装を整備し、歩きやすく快適な歩道を整備している。 ・構内歩廊に透水性の高い舗装材を利用している(再掲)	・二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例で定められている緑化基準10%、及び県有施設等の緑地確保に関する実施要綱により定められている緑化基準 15%を超える緑化を図る。(緑地面積 2,150.12m ² 、緑化率18.35%) (再掲) ・開発事業によって生じた裸地・造成法面において在来種(タマリュウなど)を選んで緑化を図っている	・環境ラベルのついた建設資材等の積極的な利用を図る。 ・低燃費型建設機械の積極的な利用を図る。 ・アイドリングストップ等の省エネ運転・機械操作を徹底する。	△	△					●	△コー ジェネ			2022/4/1	2026/6/30				
008	オリックス不動産(仮称)厚木IIIロジスティクスセンター新築工事	愛川町中津字桜台4025番1 他4筆	オリックス不動産株式会社 代表取締役 深谷 政成	事業用物流倉庫建設の為	75,544.56	1	倉庫	建築面積：32,448.01m ² 構造：RC(柱)＋S(梁)造 地上6階	・建屋内及び敷地内照明に積極的にLED照明を導入した。 ・敷地北東部に電気自動車用充電設備を整備した。 ・太陽光発電設備を導入した。(定格出力2,309.45kW)	・神奈川県みどりの協定に基づく緑化基準(15%)を満たす緑化を図った。(緑地面積14,218.84m ² 、緑化率18.79%) ・緑地帯を設置することで空地オープンスペースの連続性に配慮した、風の通り道を確保した。	・駐車場(493台)、駐輪場(60台)を整備した。 ・トラックの一時停車スペースを敷地内に確保した。	・神奈川県みどりの協定に基づく緑化基準(15%)を満たす緑化を図った。(緑地面積14,218.84m ² 、緑化率18.79%) (再掲)	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・工事関係者にアイドリングストップを励行した。	●	2,309.45	△				●	△コー ジェネ ●高効率 空調設備	様番号1 ・総合評価★★ ★B+以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下	様番号1 ・総合評価★★ ★A ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率60% ・ヒートアイランド現象の緩和スコア値3.0	2022/4/1	2024/3/31	2024/3/5 延べ面積 措置の内容	2024/4/15		
009	Landport横浜福浦新築工事	横浜市金沢区福浦3丁目11番2、11番3	野村不動産株式会社 代表取締役社長 松尾 大作	全国的に高まる物流倉庫の需要に伴う、物流倉庫の新築	33,487.96	1	倉庫	建築面積：22,111.09m ² 構造：S造 地上2階、地下0階	・太陽光の導入を予定した。(定格出力：2,609.46kW)(充電) ・高効率な冷暖房設備(全熱交換器)を導入した。 ・全館にLED照明の導入を行った。	・室外機の配列に配慮し、排熱のショートサーキットの防止等を図っている。 ・設備バルコニーを設置することで、熱が拡散しやすい位置で排熱している。また、歩行者動線より上部に同設備を設置し、歩行者空間に配慮した排熱を行っている。 ・屋上緑化を計画すると共に、横浜市開発事業の調整等に関する条例で定められている緑化基準10%を超える緑化を行い、高木・中木・低木等をバランスのよい配置を行った。(緑地面積4,534.64m ² 、緑化率13.54%) ・歩行者空間等へ風を導く建築物の配置とした。また、道路等の空地オープンスペースの連続性に配慮し、南北に風の通り道を作った。	・駐車場73台、駐輪場40台を設置し、荷捌き場を確保した。 ・極力段差を設けず、歩きやすく快適な歩道を整備した。	・道路沿いに緑地を設置し、歩行者に配慮した緑化計画とした。 ・屋上緑化を計画すると共に、横浜市開発事業の調整等に関する条例で定められている緑化基準10%を超える緑化を行い、高木・中木・低木等をバランスのよい配置を行った。(緑地面積4,534.64m ² 、緑化率13.54%) (再掲)	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップと省燃費運転を励行した。	◎	2,609.46	△			●	△コー ジェネ	様番号1 【参考】 CASBEE横浜による総合評価A以上	様番号1 【参考】 CASBEE横浜による総合評価A	2022/5/16	2023/9/15	2023/9/6 開発事業者 名称 措置の内容	2023/9/7			

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1										特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況	
					特定開発事業を行う区域の面積(m ²)	予定建築物の概要			エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電 定格出力(kw)	太陽熱利用	風力発電	水力発電	地熱発電	温度差熱利用	蓄熱回収型給湯器	LED照明設備	その他設備※2	変更届					完了届等	
						棟番号	用途	延べ面積(m ²)																					備考
010	三井不動産ロジスティクスパーク座間	座間市ひばりが丘四丁目5660番地13	座間相模特定目的会社 取締役 三貴 貴仙	大型物流倉庫の建設	60,916.32	1	倉庫	134,019.86	建築面積：34795.59m ² 構造：柱RC 梁S ランFS 地上4階 塔屋1階	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式の窓を導入し、自然通風を確保した。 ・複層ガラス、高効率空調機を導入した。 ・調光式の照明やLED照明を導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の周囲に植栽帯、緩衝緑地帯、街路樹を設けた。 ・東側・北側駐車場に緑化ブロックを設けた。 ・座間市開発等指導要綱技術基準で定められている緑化基準(20%)を満たす緑化をした。(12,321.05m²、20%以上) ・倉庫棟には3Fテラスと屋上に屋上緑化を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場170台、駐輪場112台を設置した。 ・東西道路側に出入口を設けることで面道246号緑側の車の洗濯発生を避け、周辺地域の交通の安全に配慮している。 ・トラックと乗用車、人の動線を明確に分け、敷地内の安全に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の周囲に植栽帯、緩衝緑地帯、街路樹を設けた。(再掲) ・東側・北側駐車場に緑化ブロックを設けた。(再掲) ・座間市開発等指導要綱技術基準で定められている緑化基準(20%)を満たす緑化をした。(12,321.05m²、20%以上)(再掲) ・倉庫棟には3Fテラスと屋上に屋上緑化を設けた。(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ等の省エネ運転・機械操作を徹底した。 ・建設機械(車両、重機等)の適正整備を行った。 	△	△						●	△コーゼネ ●高効率空調設備	倉庫棟 ・総合評価★★★A以上 ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和スコア2.5以上	倉庫棟 ・総合評価★★★A ・地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率77% ・ヒートアイランド現象の緩和スコア3.0	2022/6/1	2023/9/30	2023/9/5 開発事業者区域の面積 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容 再エネ活用 検討	2023/9/8
						2	守衛所	2.95	建築面積：2.95m ² 構造：柱S 梁S 地上1階																				
						3	守衛所	49.29	建築面積：49.29m ² 構造：柱S 梁S 地上1階																				
						合計		134,072.10																					
011	(仮称)横浜戸塚物流施設設計書	横浜市戸塚区上矢部町284番11外9筆	横浜戸塚特定目的会社 取締役 稲葉 孝史	本事業は近年増加する物流・倉庫保管業務に対応すべく、マルチテナント型物流倉庫(最大4テナントまで入居可能)の建設を行なうものです。敷地は、横浜内陸部に位置し、横浜新道や国道一号線に近接しており、東名高速道路や圏央道にアクセスしやすく、首都圏及び広域には東日本全球や東海地方へとアクセスできる場所に立地しています。倉庫棟と付属棟(トラハ・休憩室・備品庫)を建設します	19,072.95	1	倉庫	38,694.00	建築面積：10694.15m ² 、鉄骨造 地上4階、地下なし	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫棟は、外壁ALC・屋根二重折板とし外装の断熱化を図った。 ・3棟共に、積極的にLED照明器具を導入した。 ・倉庫用の事務所空調に、全熱交換機を採用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市開発事業の調整等に関する条例に基づき、敷地内緑地において、緑の量の確保について配慮した(緑地面積：2902.26m²、約15%) ・歩行者通路を避けて室外機置場を設置した。 ・倉庫棟の原則2階以上に室外機置場を設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構内道路内の歩行者通路にカラー舗装を採用した。 ・従業員数にあった適切な量の駐車場を設置した。 ・倉庫棟の1・2階に荷捌場を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市開発事業の調整等に関する条例に基づき、敷地内緑地において、緑の量の確保について配慮した(緑地面積：2902.26m²、約15%)(再掲) ・車両・重機のアイドリングストップの緑化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫棟事務所エリアの内装仕上材にリサイクル材(グリーン購入法・エコマーク商品)を採用した。 ・車両・重機のアイドリングストップを助行した。 	△	△				●	△コーゼネ	棟番号1 (参考) CASBEE横浜による総合評価B+以上	棟番号1 (参考) CASBEE横浜による総合評価A	2022/8/1	2024/2/15	2023/12/8 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容	2024/1/31		
						2	休憩所	8.80	建築面積：4.40m ² 、鉄骨造 地上1階、地下なし																				
						3	駐輪場	20.70	建築面積：11.70m ² 、鉄骨造 地上1階、地下なし																				
						合計		38,723.50																					

※1 再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明

- △：検討を行った設備
- ：検討を行い、導入を予定している設備
- ◎：検討を行い、全量売電するために導入を予定している設備

※2 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表記の説明

- 高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備
- LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車

コーゼネ：コーゼネレーションシステム(ガスエンジン給湯器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。)

EWS：エネルギーマネジメントシステム(エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。)

※3 「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明

措置の内容：温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容

再エネ活用検討：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があった場合

措置及び評価の目標：特定建築物に係る地球温暖化対策の措置及び評価の目標に変更があった場合